

International Symposium on
Advanced Manufacturing Science for Future Systems

“Biomimetics”

先端生産科学国際シンポジウム
“バイオミメティクス”

2016 年 12 月 5 日 13:00-17:50

東京大学工学部 2 号館 213 号室（本郷）
主催：東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻

東京大学大学院工学系研究科と欧州のバイオミメティクス（生物機能の工学的応用）研究の中心となっているフライブルグ大学生物学部は昨年 12 月、国際交流協定を締結いたしました。この協定は、生物、バイオミメティクス、工学にまたがる国際的な異分野ネットワークを構築するとともに、この分野でのグローバルな研究人材を育成することを目指しています。このたび、その交流の一環として、フライブルグ大学から、ドイツバイオニック連合のキーパーソンでもある Speck 教授、およびその研究グループを招聘し、第 2 回先端生産科学国際シンポジウム『バイオミメティクス』を開催する運びとなりました。

公開シンポジウムですので、ご興味のある方は奮ってご参加下さい。

プログラム

座長：細田奈麻絵 教授（東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻）

13:00-13:05 開会挨拶 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 専攻長 鈴木宏正 教授

13:05-13:35 昆虫-機械融合システム

東京大学先端科学技術研究センター 所長 神崎亮平 教授

13:35-14:05 バイオミメティクスと建築：自然から学ぶ未来の建造物

Prof. Thomas Speck, フライブルグ大学

14:05-14:35 ファイバーへの微細加工と自動製織技術を用いたメートル級大面積センサ

東京大学大学院新領域創成科学研究科 高松誠一 准教授

14:35-15:05 自然からヒントを得た衝撃保護材料

Dr. Marc Thielen, フライブルグ大学

15:05-15:35 甲虫後翅の折り畳みを応用した展開構造の開発

東京大学生産技術研究所 齋藤一哉 助教

----- 休憩 -----

座長：須賀唯知 教授（東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻）

15:50-16:20 密着結合：蔓植物のトケイソウから学ぶ固定技術

Ms. Stefanie Schmier, フライブルグ大学

16:20-16:50 新しいバイオミメティック材料『自励振動高分子ゲル』

東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 吉田 亮 教授

16:50-17:20 建築における新しい衝撃保護のアイデアをもたらす高エネルギー散逸能力を持った繊維状多層植物構造

Dr. Georg Bauer, フライブルグ大学

17:20-17:50 溶けるマイクロ針による経皮ドラッグデリバリーの革命

東京大学生産技術研究所 金 範峻 教授

17:50 閉会挨拶 Prof. Thomas Speck, フライブルグ大学／須賀唯知教授、東京大学

参加費無料、使用言語：英語